

用語集

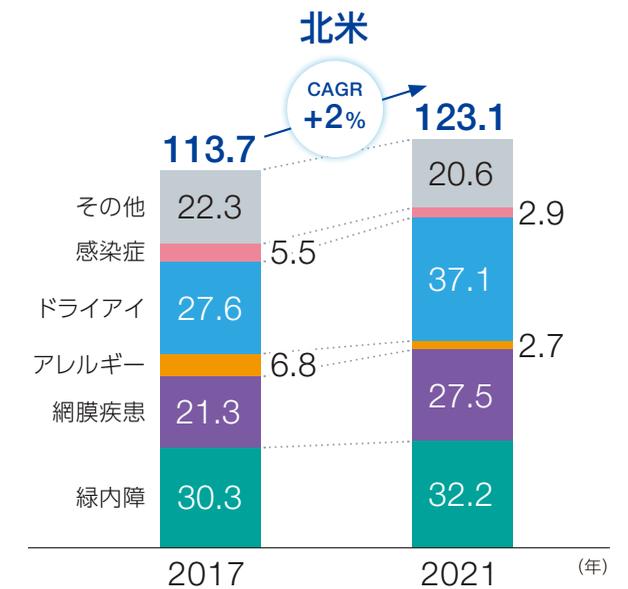
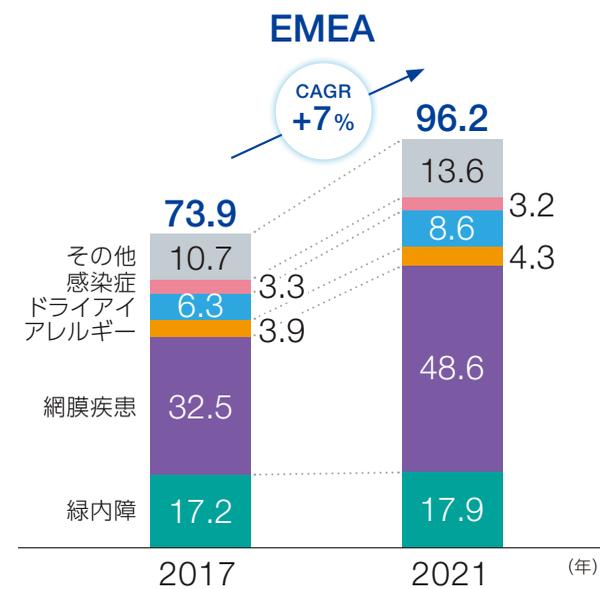
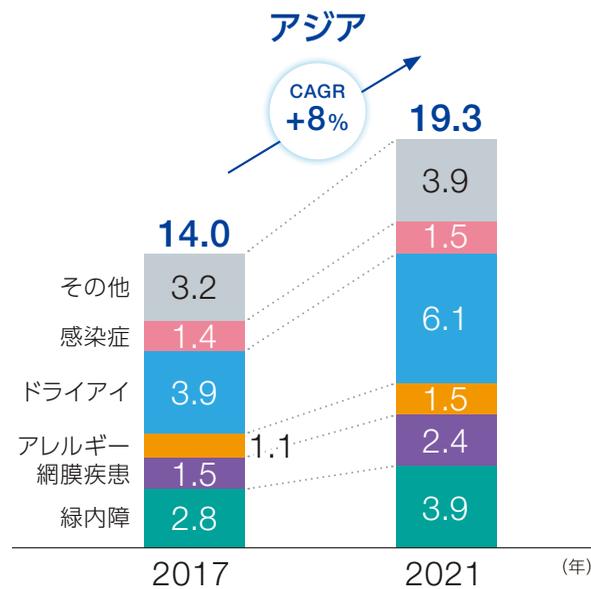
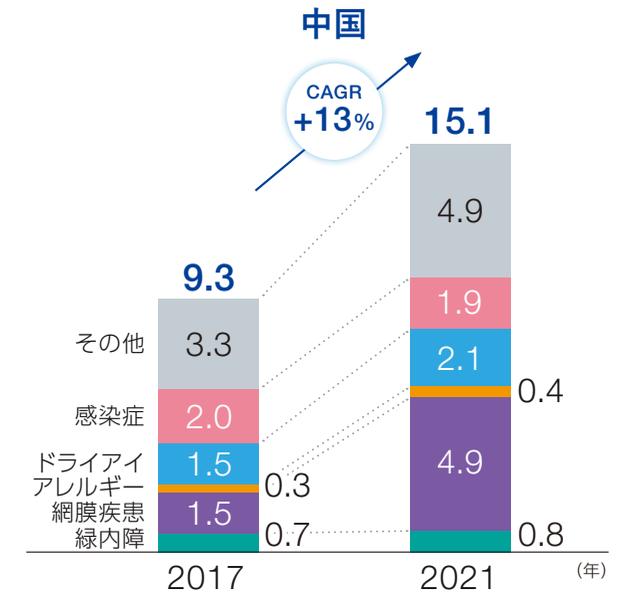
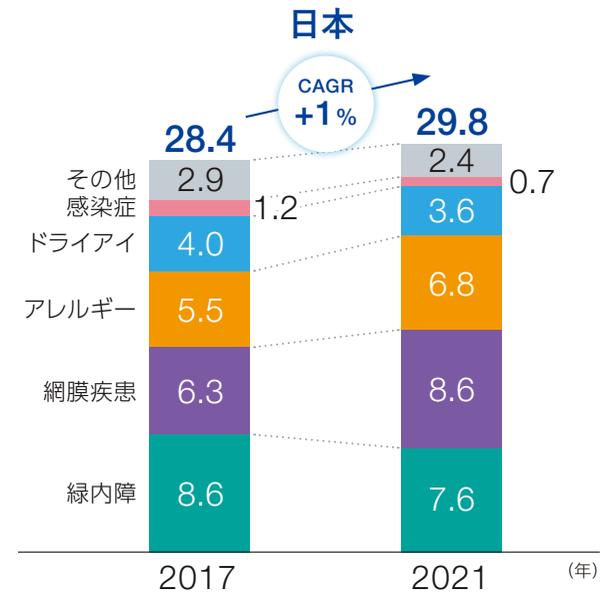
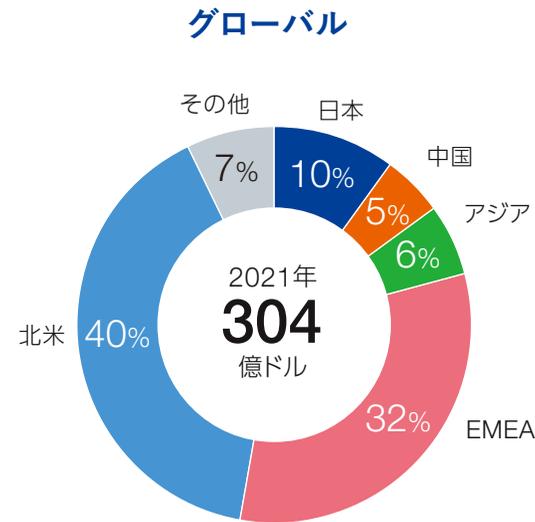
カテゴリー	用語	説明	掲載ページ
Santen	Executive Management Team (EMT) / エグゼクティブ・マネジメント・チーム	CEO直下の執行責任者で構成された経営チーム	59, 63他
	KOL (Key Opinion Leader) / キーオピニオンリーダー	治療現場や業界への影響力を有する医師などの専門家を指す	28
	LCM (Life Cycle Management) / ライフサイクルマネジメント	製剤化技術などを駆使することにより、一つの化合物を治療ニーズに合わせ、用法・用量・剤形の変更や、配合剤などさまざまな工夫を加えることで、長期にわたり製品価値を高めること	34
	QOL (Quality of Life) / クオリティーオブライフ	生活の質	26, 35他
医療・医薬品	Rx	医療用医薬品	22, 30
	トランスレーショナル・リサーチ	基礎研究・臨床研究・診療をつなげて、医療発展に寄与する成果を効率的・効果的に実用化する橋渡し研究	33
	Patient Journey / ペイシェントジャーニー	患者さんが疾患や症状を認識して、最終的に病院での受診や服薬など、治療するまでの患者さんの「行動」「思考」「感情」などのプロセスを表したもの	33
	全人的医療	疾患の治療だけでなく、患者さんの心理や社会的側面を含むあらゆる角度から総合的な疾病予防や診断・治療を行う医療	42
	MR	Medical Representative: 医薬情報担当者	13, 15他
	加齢黄斑変性	モノを見る時に重要なはたらきをする黄斑という組織が、加齢とともにダメージを受けて変化し、視力の低下を引き起こす病気のこと	2, 8
	眼瞼下垂	片目または両目の上瞼が下がり、通常は、上瞼を持ち上げる筋肉の部分的または完全な機能不全によって起こる。そのため、患者さんにとっては視野が狭まったり、外見への影響による QOL 低下が生じることがある	8, 10他
眼科	網膜色素変性症	遺伝子変異が原因で網膜の視細胞および色素上皮細胞が広範囲に変性する疾患。特徴的な症状は、夜盲、視野狭窄、視力低下で、総じて10代で発症し、中高年になると失明に至るケースも多いとされている	36
	緑内障	目から入ってきた情報を脳に伝達する視神経という器官に障害が起こり、視野(見える範囲)が狭くなる病気のこと	2, 5他
	春季カタル	小児および若年成人に多く見られる再発性の重症アレルギー性眼疾患で、角結膜を含む眼表面に重度の炎症が見られる特徴があり、強い目のかゆみや痛み、羞明などを伴う。重症化すると角膜潰瘍や視力障がいを引き起こすことがある	16, 27他
ビジネス	スマートファクトリー	先進技術を導入し、多角的に生産性を向上させていく新しい製造業の在り方	9, 38

Data

73 眼科薬市場データ

眼科薬市場データ

(単位：億ドル)

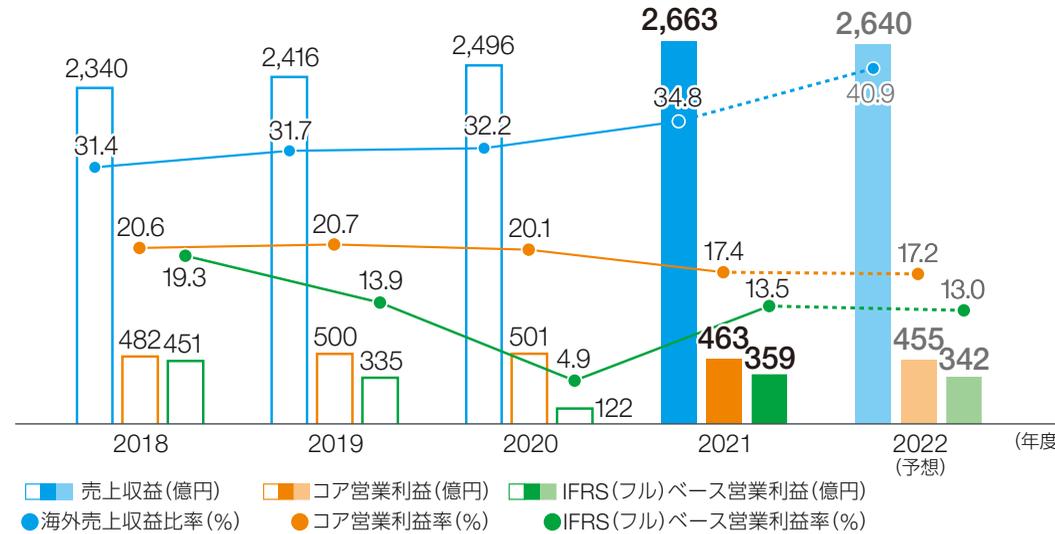


財務・非財務ハイライト(財務)

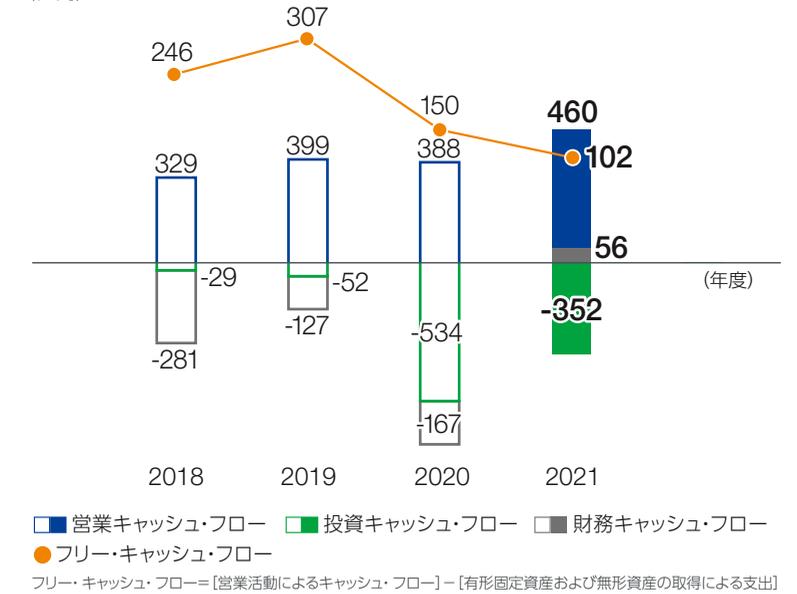
Data

74 財務・非財務ハイライト

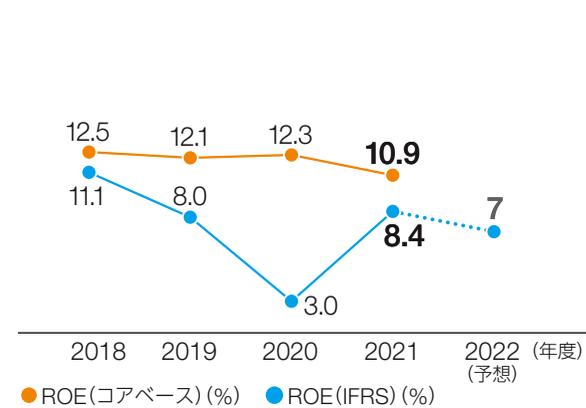
売上収益、コア／IFRS(フル)ベース営業利益・営業利益率および海外売上収益比率



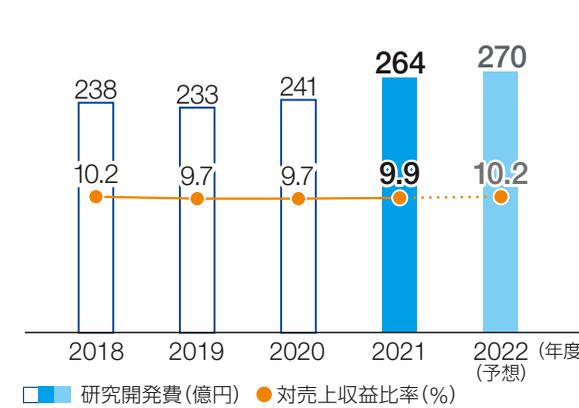
キャッシュ・フローの推移(億円)



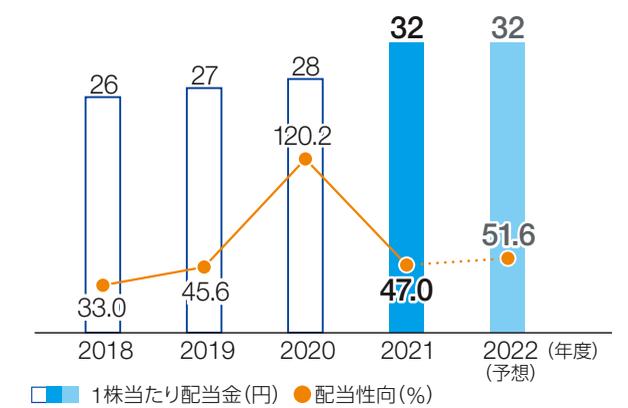
ROE



研究開発費、対売上収益比率



1株当たり配当金および配当性向



※2021年度第2四半期連結会計期間にてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の取得対価の配分が完了したことに伴い、2020年度は遡及修正後の数値を記載しています。

InnFocus, Inc. (米国)に係る無形資産の減損等に伴う減損損失などの影響により、2020年度の配当性向は120.2%となりました。

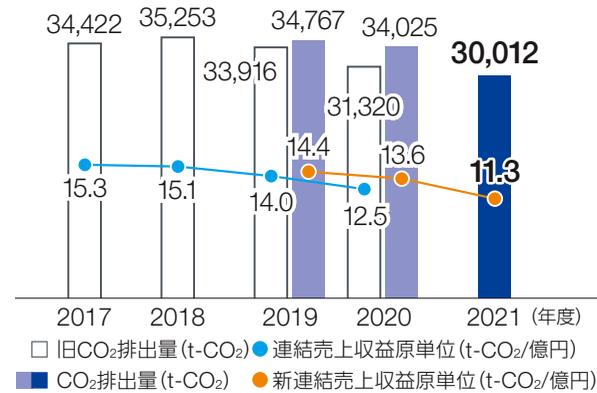
財務・非財務ハイライト(非財務)

Data

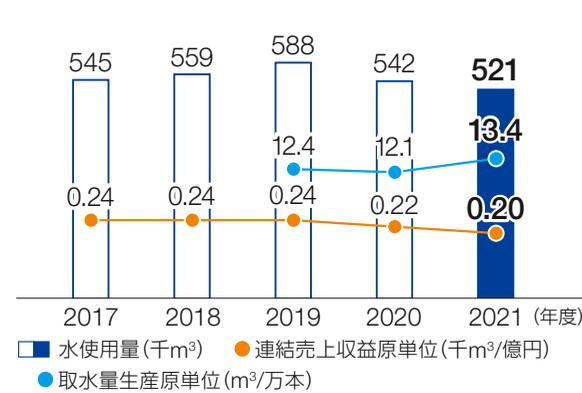
74 財務・非財務ハイライト

環境

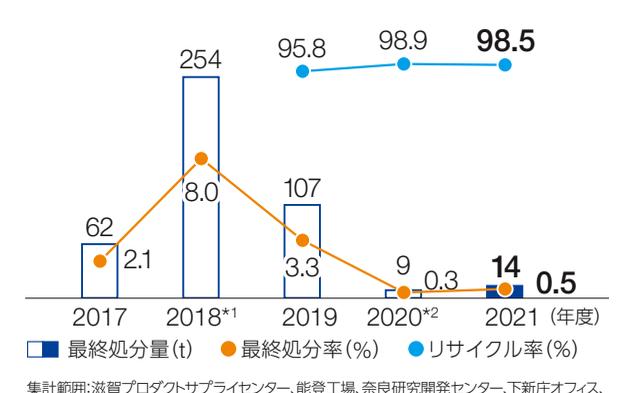
CO₂排出量



水使用量

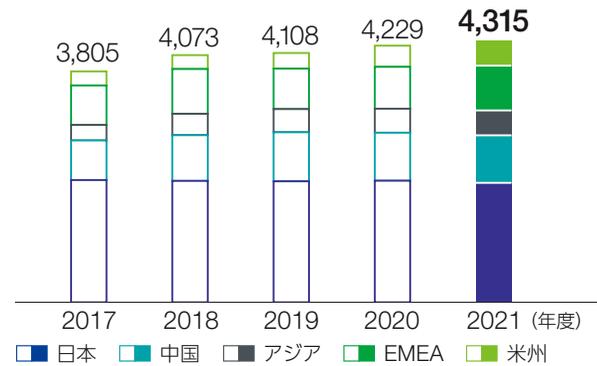


廃棄物関連データ

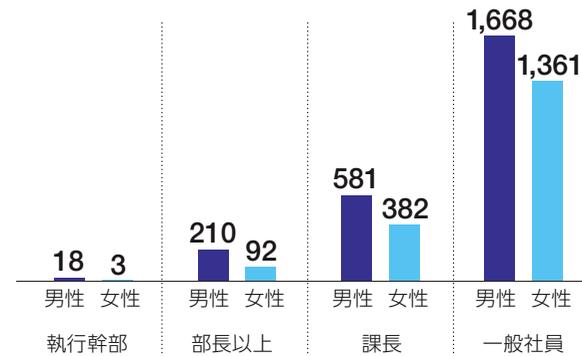


人材

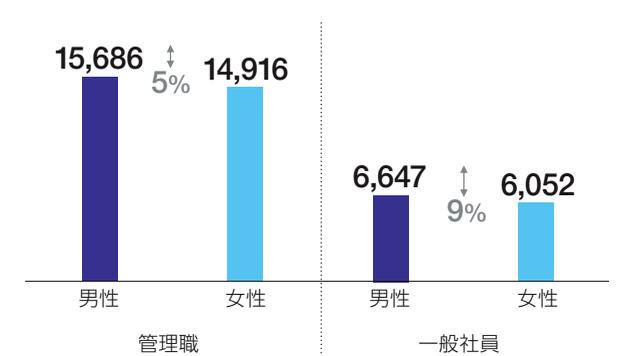
従業員数(名)



男女別階層別従業員数(名)
(2021年度)



男女平均給与(千円)
(2021年度)



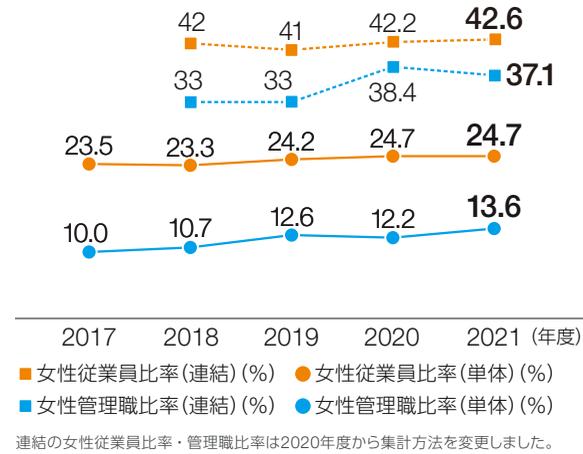
財務・非財務ハイライト(非財務)

Data

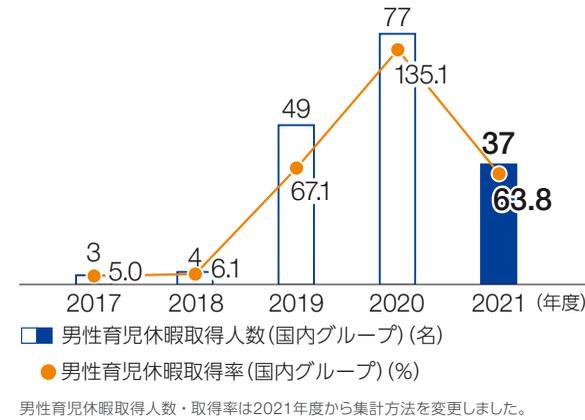
74 財務・非財務ハイライト

人材

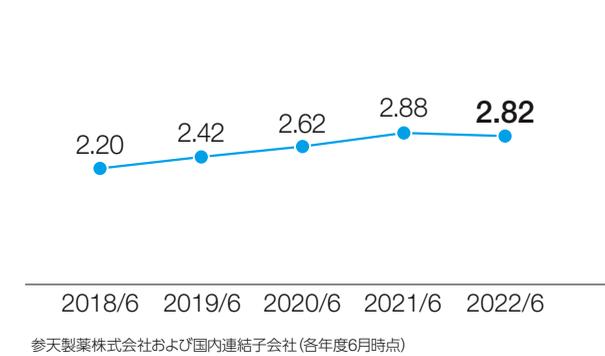
女性従業員比率・管理職比率



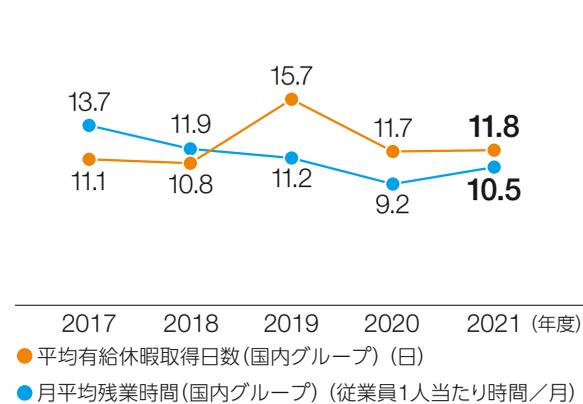
男性育児休暇取得



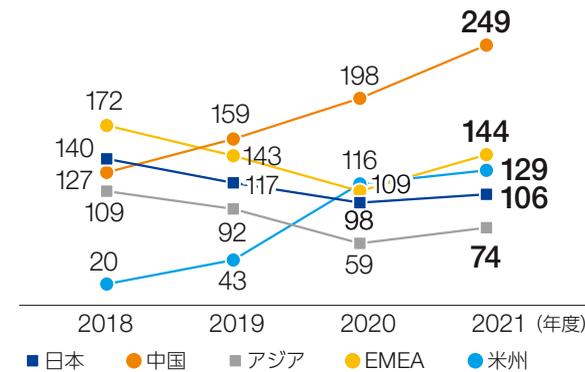
障がい者雇用率 (%)



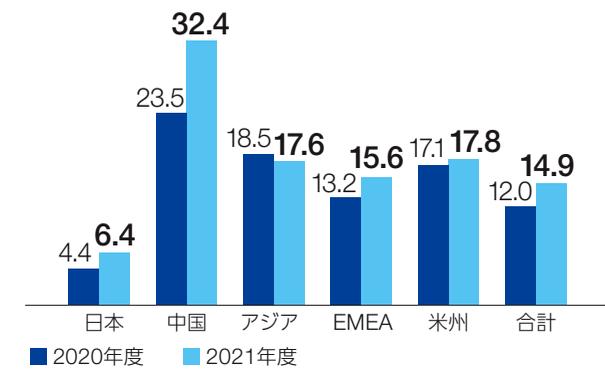
平均有給休暇取得日数、月平均残業時間



採用人数(名)



離職率 (%)



経営成績および財務分析(MD&A)

Data

77 経営成績および財務分析

2021年度の経営成績等の分析

売上収益と営業利益および当期利益について

2021年度の売上収益は、前年度と比べ6.7%増加し、2,663億円となりました。主力の医療用医薬品事業は、日本では薬価改定の影響がありました。主力製品が堅調に推移したこと、中国では集中購買における影響を最小限に抑えたこと、EMEAでは主力製品が堅調に推移したことなどにより、前年度と比べ6.3%増加し、2,496億円となりました。

売上総利益は、前年度と比べ3.4%増加し、1,566億円となりました。コアベースの販売費及び一般管理費は、前年度と比べ8.7%増加の839億円に、研究開発費は9.4%増加の264億円となり、結果としてコア営業利益は7.5%減少し、463億円となりました。

一方、IFRS(フル)ベースの販売費及び一般管理費は、前年度と比べ6.2%増加し、845億円となりました。これはEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.(米国)の統合業務等に係る一過性の費用が6億円発生したことによるものです。研究開発費は、コアベースからの調整はありません。製品に係る無形資産償却費は、前年度と比べ8.6%減少し、97億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.(米国)から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis(アイケルビス)」に関する無形資産、2016年のInnFocus, Inc.(米国)買収に伴い取得したSTN2000100(DE-128、「プリザーフロ マイクロシャント」)に関する無形資産(2019年4月より償却開始)、ならびに2020年のEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.(米国)買収に伴い取得した眼科製品に関する無形資産の償却によるものです。

前年度に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.(米国)に関し、2020年9月に行った企業結合に係る暫定的な会計処理が当年度に確定したことに伴い、前年度の連結経営成績および連結財政状態を遡及修正しています。当年度の製品に係る無形資産償却費は19億円です。

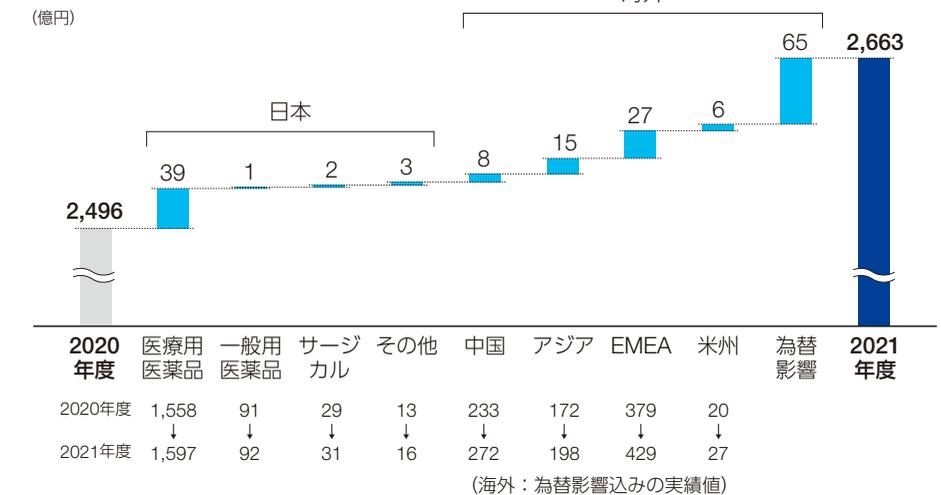
その他の収益は、10億円となりました。主に当社保有の固定資産譲渡によるものです。その他の費用は、11億円となりました。これらにより、IFRS(フル)ベースの営業利益は、前年度と比べ194.5%増加し、359億円となりました。

金融収益は、25億円となりました。主に当社グループが保有する投資有価証券評価益です。金融費用は、12億円となりました。持分法による投資損失は、16億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC(米国)との合併会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC(米国)の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前年度と比べ59億円増加し、84億円となりました。主に、グループ内の法人の利益構成比の変動により法人税等が減少した一方で、前年度は開発製造販売権の減損損失計上に伴う繰延税金負債の取り崩しが発生したことによるものです。これらにより、IFRS(フル)ベースの当期利益は、前年度と比べ197.9%増加し、272億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年度と比べ192.3%増加し、272億円となりました。売上収益に対するその比率は、10.2%となりました。

地域別売上収益の概況



77 経営成績および財務分析

経営成績および財務分析(MD&A)

日本の医療用医薬品事業では、薬価改定の影響がありました但主力製品が堅調に推移し、前年度と比べ2.5%増加し、1,597億円となりました。一般用医薬品は、前年度と比べ1.4%増加し、92億円となりました。医療機器は、前年度と比べ7.3%増加し、31億円となりました。これらの結果、日本事業全体では前年度と比べ2.7%増加し、1,736億円となりました。

中国は円換算ベースで前年度と比べ16.5%増加し272億円(為替影響を除いた成長率は+3.6%)となりました。「ジクアス」点眼液および「タプロス」点眼液の販売促進強化を行うとともに、主力製品である「クラビット」点眼液および「ヒアレイン」点眼液は、集中購買による影響を受けつつも、引き続き私立病院や薬局など他のチャネルでの拡販に注力し、減少を抑制しています。

アジアは円換算ベースで前年度と比べ15.1%増加し198億円(為替影響を除いた成長率は+8.7%)となりました。

EMEAは円換算ベースで前年度と比べ13.2%増加し429億円(為替影響を除いた成長率は+7.1%)となりました。

米州は円換算ベースで前年度と比べ35.0%増加し27億円(為替影響を除いた成長率は+27.4%)となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、前年度に買収した Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.(米国)の売上収益は14億円です。

資産および資本・負債の状況

資産は、4,600億円となりました。Aerie Pharmaceuticals, Inc.(米国)とのライセンス契約に伴う無形資産の増加、滋賀プロダクトサプライセンター敷地内における医療用点眼薬製造のための第3棟の増設に伴う有形固定資産の増加、ならびに現金及び現金同等物の増加などにより前年度末と比べ547億円増加しました。

資本は、3,368億円となりました。利益剰余金の増加およびその他の資本の構成要素の増加などにより前年度末と比べ272億円増加しました。

負債は、1,231億円となりました。長期借入金等による金融負債の増加、営業債務及びその他の債務の増加、ならびに短期借入金等によるその他の金融負債の増加などにより前年度末と比べ275億円増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前年度末と比べ3.1ポイント減少し、73.4%となりました。

設備投資の概況およびキャッシュ・フローの状況

当年度の設備投資額は、222億円(前年度は113億円)となりました。拡大を続ける需要に対し、安定供給のための生産能力確保を目的として、前述の滋賀プロダクトサプライセンターの増設に加え、中国の現地法人「参天製薬(中国)有限公司」の新工場にかかる投資を継続しています。今後、見込まれる市場成長に対し、早期にキャパシティを構築することで、グローバルでの競争優位を確立し、さらなる事業の成長につなげていきます。また、事業のグローバル展開を支え、業務標準化と抜本的な生産性向上を目的として、次世代ERPへの投資等を継続しています。

営業活動によるキャッシュ・フローは、460億円の収入(前年度は388億円の収入)となりました。主に当期利益が272億円、減価償却費及び償却費171億円、法人所得税費用84億円、法人所得税の支払額102億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、352億円の支出(前年度は534億円の支出)となりました。主に有形固定資産の取得による支出173億円および無形資産の取得による支出185億円によるものです。また、政策保有株式の見直しを加速化しており、当年度は4銘柄の投資の売却による収入が39億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、56億円の収入(前年度は167億円の支出)となりました。配当金の支払い120億円などがありましたが、短期借入れによる収入105億円および長期借入れによる収入100億円などによるものです。以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前年度末と比べ201億円増加し830億円となりました。

経営成績および財務分析(MD&A)

2022年度の見通し

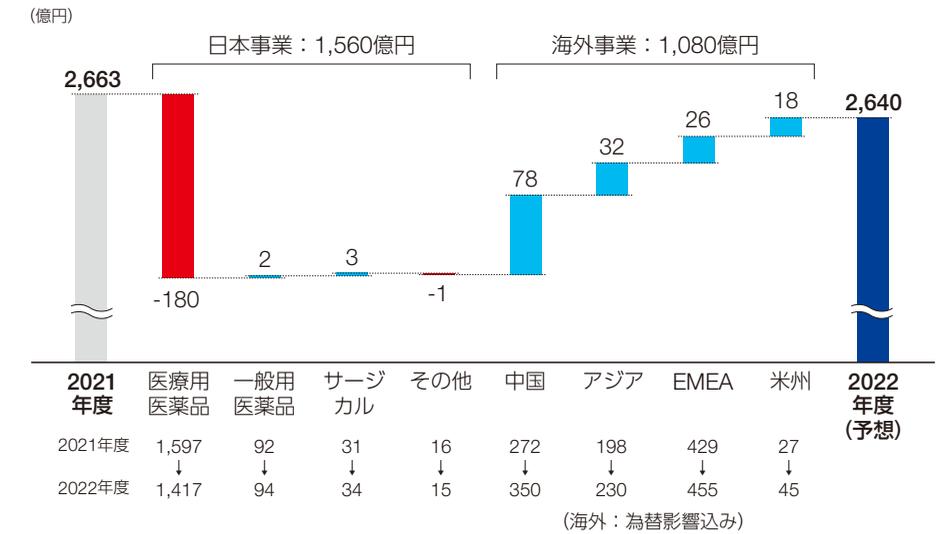
売上収益は2,640億円、2021年度比で横ばいを予想しています。販売費及び一般管理費は2021年度比5.5%増の885億円、研究開発費は2.4%増の270億円を予想しています。事業活動自体の収益性を示すコア営業利益は、455億円と前年度比横ばいを見込んでいます。将来の成長のための資源投下を行いながら、継続的な費用コントロールの強化による経常的費用支出の抑制を図ることで、持続的な利益を確保することを目指します。

IFRS(フル)ベースについては、営業利益は2021年度比4.7%減の342億円を予想しています。当期利益は10.3%減の244億円を予想しています。

業績見通しの前提となる為替レートについては、1USドル=125円、1ユーロ=135円、1中国元=19.0円を想定しています。また、上記の業績予想は現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績は、事業環境の変化などさまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

財務関連資料は当社ウェブサイトをご覧ください。

売上収益地域別増減予想(前年度比)



11年間の要約財務データ

単位：百万円

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度*4	2021年度
	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS							
会計年度:											
売上高／売上収益	114,416	119,066	146,260	161,831	195,291	199,096	224,942	234,026	241,555	249,605	266,257
売上原価	35,385	41,501	57,353	56,373	72,829	74,966	86,378	90,764	94,831	98,221	109,671
販売費及び一般管理費*1	35,073	36,164	41,642	48,893	59,406	62,193	68,788	71,273	73,360	79,554	84,499
研究開発費	17,225	16,719	16,862	17,477	19,990	22,786	24,398	23,759	23,341	24,112	26,377
営業利益	26,733	24,681	29,878	35,374	80,180	32,479	38,691	45,098	33,535	12,187	35,886
コア営業利益	—	—	30,403	39,088	43,067	39,687	45,378	48,230	50,023	50,101	46,348
法人税等／法人所得税費用	10,630	9,070	10,643	11,831	26,097	8,331	4,000	11,174	10,377	2,562	8,427
当期純利益／当期利益	17,160	16,520	19,718	24,032	53,373	21,724	35,261	31,943	21,714	9,126	27,189
コア当期利益	—	—	19,813	25,948	29,163	29,125	33,458	36,092	35,894	37,549	35,195
設備投資額(支払ベース)／有形固定資産 および無形資産の取得による支出	3,281	3,609	5,879	66,440	9,092	9,500	9,937	8,332	9,228	23,804	35,841
減価償却費及び償却費	2,949	3,291	2,841	6,958	9,338	9,882	10,896	10,969	16,573	17,498	17,055
会計年度末:											
総資産／資産合計	198,801	199,640	237,640	304,200	355,399	358,906	388,463	391,186	408,768	405,285	459,976
純資産／資本合計	164,861	165,132	187,210	211,779	260,009	255,929	287,557	292,572	302,560	309,646	336,844
負債	33,940	34,507	50,430	92,421	95,391	102,977	100,905	98,614	106,208	95,639	123,133
1株当たり情報*2 (円):											
EPS(当期純利益／基本的当期利益)	196.96	195.81	47.78	58.18	128.99	52.96	86.73	78.67	59.16	23.30	68.07
コアEPS	—	—	48.01	62.82	70.48	70.99	82.29	88.89	90.00	94.09	88.16
純資産／親会社所有者帰属持分*3	1,887.81	1,998.44	452.43	511.14	627.78	628.09	702.54	728.97	758.50	776.16	843.60
配当金	20.00	20.00	20.00	22.00	25.00	26.00	26.00	26.00	27.00	28.00	32.00

*1 日本基準では、研究開発費を除いています。

*2 当社は、2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しました。配当金を除く2013年度以降の1株当たり情報については、2013年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しています。1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を遡及して調整しています。

*3 日本基準では、自己資本は純資産から新株予約権を除いています。

*4 2021年度第2四半期連結会計期間にてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) の取得対価の配分が完了したことに伴い、2020年度は遡及修正後の数値を記載しています。

11年間の要約財務データ

単位：百万円

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度*4	2021年度
	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS							
キャッシュ・フロー:											
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,483	9,942	26,686	25,386	22,525	10,843	42,843	32,894	39,947	38,808	46,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	-10,272	-4,595	-7,847	-61,709	37,052	-28,201	-8,259	-2,935	-5,175	-53,355	-35,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	-8,559	-21,557	-7,954	28,960	-24,066	-28,657	-17,631	-28,107	-12,729	-16,685	5,557
フリー・キャッシュ・フロー*1	18,203	6,334	20,807	-41,054	13,433	1,342	32,906	24,562	30,719	15,004	10,203
インタレストカバレッジレシオ(倍)	1,285.0	3,037.8	2,855.4	309.8	230.9	206.6	1,573.6	4,330.0	210.1	244.6	191.6
財務指標等:											
ROE(自己資本当期純利益率/ 親会社所有者帰属持分当期利益率)(%) ^{*2}	10.7	10.0	11.1	12.0	22.6	8.4	13.0	11.1	8.0	3.0	8.4
コアROE(%)	—	—	11.2	13.0	12.4	11.3	12.4	12.5	12.1	12.3	10.9
ROA(総資産当期純利益率/ 資産合計当期利益率)(%)	8.9	8.3	8.9	8.9	16.2	6.1	9.4	8.2	5.4	2.2	6.3
自己資本比率/ 親会社所有者帰属持分比率(%) ^{*2}	82.8	82.6	78.8	69.6	73.2	71.1	73.6	74.4	74.1	76.5	73.4
DELレシオ(有利子負債 ^{*3} ÷自己資本/ 親会社所有者帰属持分)(倍) ^{*2}	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
PER(株価収益率)(倍)	17.9	22.7	19.2	30.1	13.1	30.4	19.8	21.0	31.4	65.4	18.0
配当性向(%)	50.8	51.1	41.9	37.8	19.4	49.1	30.0	33.0	45.6	120.2	47.0
期末発行済株式数(千株)(自己株式を含む)	87,147	82,469	82,583	82,653	414,192	406,173	406,848	399,782	400,028	400,369	400,695
従業員数(名)	3,053	3,050	3,072	3,230	3,463	3,667	3,805	4,073	4,108	4,229	4,315

*1 フリー・キャッシュ・フロー＝[営業活動によるキャッシュ・フロー]－[有形固定資産および無形資産の取得による支出]

*2 日本基準では、自己資本は純資産から新株予約権を除いています。

*3 リース債務を除く。

*4 2021年度第2四半期連結会計期間にてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国)の取得対価の配分が完了したことに伴い、2020年度は遡及修正後の数値を記載しています。

株式情報

(2022年3月31日)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	69,398	17.3
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	34,282	8.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	28,509	7.1
日本生命保険相互会社	10,662	2.7
株式会社三菱UFJ銀行	10,605	2.6
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	8,245	2.1
小野薬品工業株式会社	7,756	1.9
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,330	1.8
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 エーザイ口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	6,863	1.7
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,412	1.4

年間の高値・安値

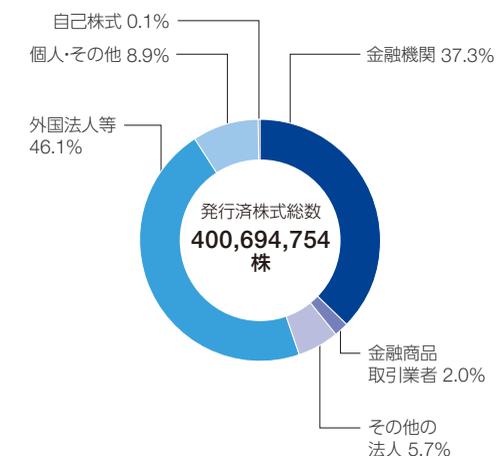
年度	2017	2018	2019	2020	2021
高値(円)	1,946	2,061	2,234	2,216	1,718
安値(円)	1,463	1,450	1,408	1,370	1,210

株主総利回り (トータル・シェアホルダー・リターン)

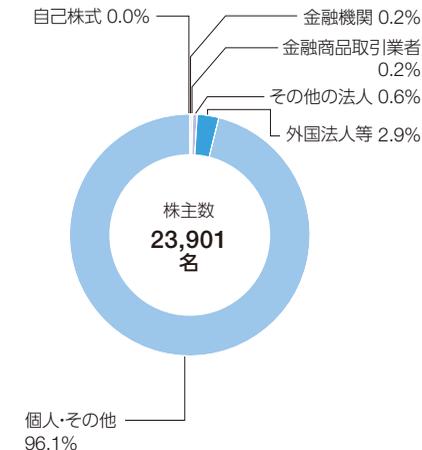
年度	2017	2018	2019	2020	2021
株主総利回り (%)	108.0	105.5	120.2	101.1	84.7
比較指標: 配当込み TOPIX (%)	115.9	110.0	99.6	141.5	144.3

株主分布状況

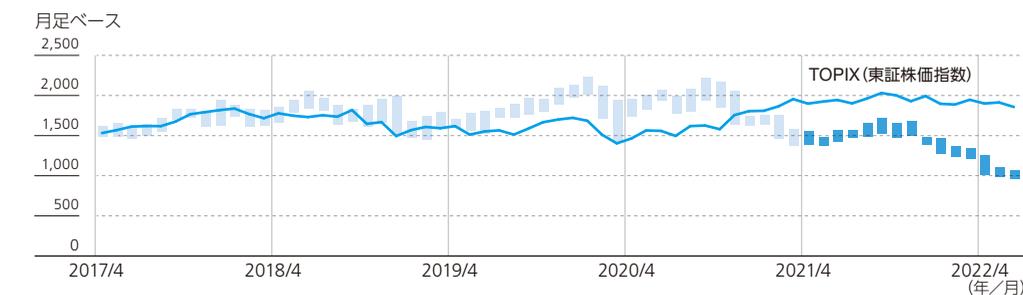
所有株式数別分布状況



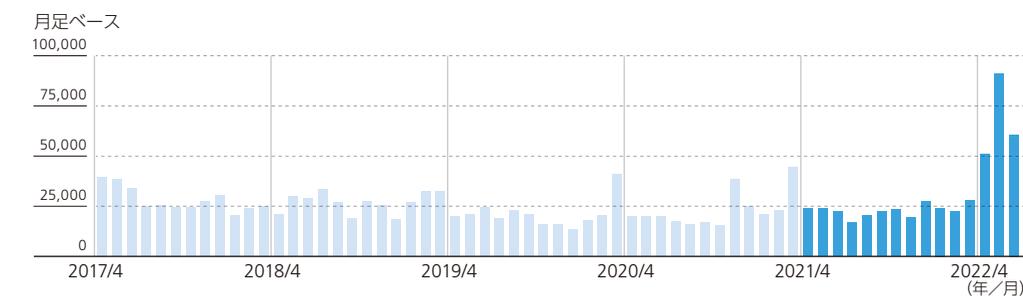
所有者別分布状況



株価の推移 (円)



株式売買高 (千株)



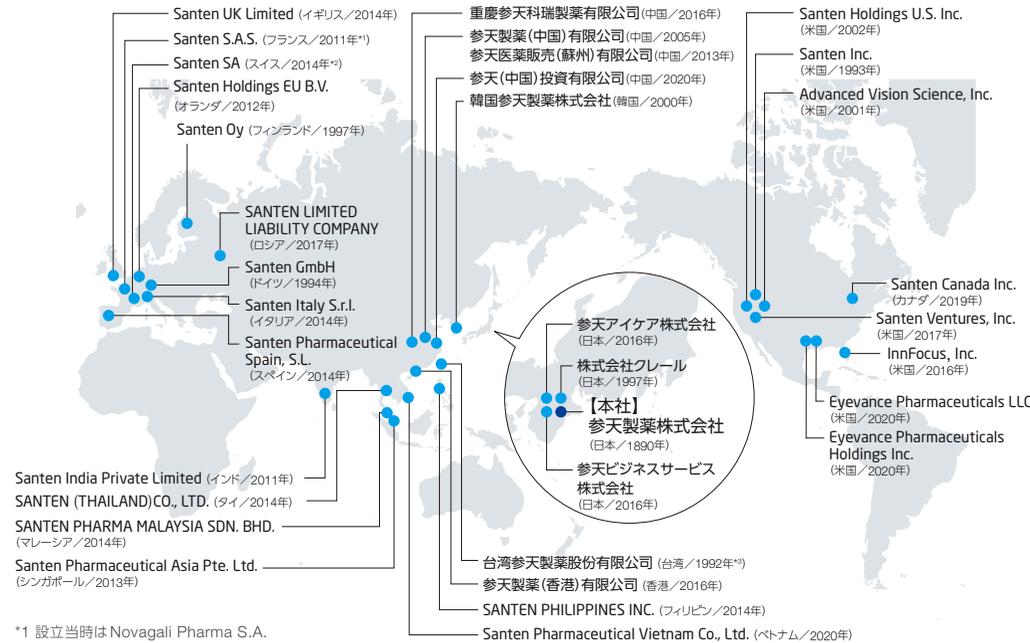
会社概要 (2022年3月31日)

本 社	参天製薬株式会社 〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA TEL : 06-7664-8621
URL	https://www.santen.com/ja/
創 業	1890年
資本金	8,672百万円

従業員数	4,315名(連結)
発行済株式数	400,694,754株
株主数	23,901名
株式上場市場	東京証券取引所
証券コード	4536
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL : 0120-094-777

83 会社概要

国内外の子会社 ()内は所在国/設立年



*1 設立当時は Novagali Pharma S.A.
*2 設立当時は Santen Switzerland SA
*3 設立当時は 大明参天股份有限公司

ESGインデックスへの組み入れ状況

FTSE4Good Index Series FTSE4Good	FTSE Blossom Japan Index FTSE Blossom Japan
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数 2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) 2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
SOMPO サステナビリティ・インデックス 2022 Sompo Sustainability Index	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

FTSE4Good Index SeriesはグローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために開発されたものです。FTSE4Good Index Seriesはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Blossom Japan IndexはグローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

参天製薬株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による参天製薬株式会社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。